

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 6 区分

【発行日】平成21年10月8日(2009.10.8)

【公開番号】特開2009-184740(P2009-184740A)

【公開日】平成21年8月20日(2009.8.20)

【年通号数】公開・登録公報2009-033

【出願番号】特願2009-95044(P2009-95044)

【国際特許分類】

B 6 5 B 1/10 (2006.01)

B 6 5 B 1/06 (2006.01)

B 6 5 B 37/20 (2006.01)

B 6 5 B 39/00 (2006.01)

B 6 5 B 39/04 (2006.01)

B 6 5 B 43/30 (2006.01)

B 6 5 B 43/32 (2006.01)

B 6 5 B 43/54 (2006.01)

【F I】

B 6 5 B 1/10 B

B 6 5 B 1/06

B 6 5 B 37/20

B 6 5 B 39/00 A

B 6 5 B 39/04

B 6 5 B 43/30 A

B 6 5 B 43/32 A

B 6 5 B 43/54 D

【手続補正書】

【提出日】平成21年8月20日(2009.8.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

フォイル・バッグ（24）に食品（42）を充填するデバイス（1）であって、
 フォイル・バッグ（24）を移送する移送デバイス（23）と、
 所定量の固形食品（42）を測り分ける分注デバイス（27）と、
 前記フォイル・バッグ（24）に測定量の固形食品（42）を充填する充填デバイス（
 17、18）と、

前記フォイル・バッグ（24）を閉鎖する閉鎖デバイス（43）と、

分配ユニット（3）が設けられる貯蔵ホッパ（2）とを備え、

前記分配ユニット（3）が、線形攪拌ユニットであることを特徴とするデバイス。

【請求項 2】

前記攪拌ユニットが、横に往復させることができる下向きに方向付けられた棒を備える
 ことを特徴とする請求項 1 に記載のデバイス。

【請求項 3】

前記充填デバイス（17、18）が、前記フォイル・バッグ（24）の充填位置で終端
 する製品ライン（17）を含むことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載のデバイス。

【請求項 4】

前記製品ライン（１７）がホッパの形態であることを特徴とする請求項 3 に記載のデバイス。

【請求項 5】

前記製品ライン（１７）が移動可能であって、前記製品ライン（１７）の端部を前記フ
ォイル・バッグ（２４）に入れ、そこから出すことができることを特徴とする請求項 3 ま
たは 4 に記載のデバイス。

【請求項 6】

前記製品ライン（１７）が前記フォイル・バッグ（２４）に面するその端部で楔形であ
ることを特徴とする請求項 3～5 のうちいずれか一項に記載のデバイス。

【請求項 7】

前記製品ライン（１７）の上方端部またはその上に、流体を前記製品ライン（１７）内
に通すことができる流体出口（１８）が設けられることを特徴とする請求項 3～6 のうち
いずれか一項に記載のデバイス。

【請求項 8】

前記流体出口（１８）が輪の形状であり及び／又は前記流体を輪形状に分配することが
できることを特徴とする請求項 6 に記載のデバイス。

【請求項 9】

フォイル・バッグ（２４）に食品（４２）を充填する方法であって、
前記フォイル・バッグ（２４）を移送するステップと、
貯蔵ホッパ（２）に固形食品を保持するステップと、
所定量の固形食品（４２）を測り分けるステップと、
前記フォイル・バッグ（２４）に測定量の固形食品（４２）を充填するステップと、
前記フォイル・バッグ（２４）を閉鎖するステップとを含み、
線形攪拌ユニット（３）が貯蔵ホッパ（２）の固形食品を分配することを特徴とする方
法。

【請求項 10】

製品ライン（１７）を使用して、前記固形食品（４２）を前記フォイル・バッグ（２４）
）内に通すことができることを特徴とする請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

前記製品ラインは充填ホッパであることを特徴とする請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

前記製品ライン（１７）が前記フォイル・バッグ（２４）に移動されることを特徴とす
る請求項 10 または 11 に記載の方法。

【請求項 13】

前記製品ラインが、その後、離れて、戻ることを特徴とする請求項 12 に記載の方法。

【請求項 14】

前記フォイル・バッグ（２４）が充填される時、空気などの気体が前記製品ライン（１
７）内に吹き込まれることを特徴とする請求項 10～13 のうちいずれか一項に記載の方
法。

【請求項 15】

前記製品ライン（１７）が、食品と接触する側で、例えば蒸気で、湿潤されることを特
徴とする請求項 10～14 のうちいずれか一項に記載の方法。